

交通安全地蔵尊周辺を除排雪

安全運転への願い込め

宮坂建設工業が早朝から

【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）は二十五日、地域貢献の一環として、帯広空港線沿いの「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺で除排雪ボランティアを行った。地蔵尊が堆積した雪で隠れていたことから、

付近を通行するドライバーが地蔵尊を見て、「安全運転を心がけるきっかけになれば」と願いを込めて作業を進めた。

同社では帯広・広尾道に施工したことをきっかけに、交通事故の撲滅を願い、平成十八年から地蔵尊

の除排雪作業を行うようになった。毎シーズン、まとまった雪があるたびに職員自ら積極的に作業に参加。今シーズンは、今回で二回目となる。



この日、タイヤショベル一台を使って堆積した雪を次々とダンプトラック三台に積み込んだ。水点下二十五度を下回る気温の中で作業を進めた。

だ。並行して、地蔵尊や四阿、トイレ付近など細かな部分は職員十七人が協力して作業を進めていた。

木幡彰夫常務は「冬季は、交通事故の危険性も高まる。社員はもとより、付近を通過するドライバーが交通安全地蔵尊を見て、交通安全に対する意識が少しでも高まれば」と期待を寄せていた。

奉仕

◆宮坂建設工業（帯広、
宮坂寿文社長）の除排雪作
業



25日、同市大正町の道道
帯広空港線と市道交差点に
ある「新西国二十三番観世
音菩薩交通安全地藏尊」周
辺で行ったⅡ写真。

同社が帯広・広尾自動車
道建設工事を担当したこと
で、2004年から実施し
ている。

今冬2回目となったこの
日は、社員ら17人が参加し、
スコップや重機を使って排
雪した。

同社の木幡彰夫常務は
「交通安全や事故防止につ
ながるように続けていきた
い」と話した。

地藏尊周辺で
2度目除排雪

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業
（本社・帯広、宮坂寿文
社長）は25日、帯広市大
正町にある新西国三十
三番観世音菩薩交通安全
地藏尊周辺で除排雪の地
域貢献活動をしたⅡ写
真。

道道帯広空港線沿いの



交差点にある地藏尊は、
とち帯広空港に近い

め交通量が多いものの、
道道の除雪作業で雪が積
まれるため見通しが悪
い。同社では近隣でさま
ざまな現場を手掛けてき
たこともあり、2004
年から定期的に除排雪し
ている。今季は2度目の
出動だった。

木幡彰夫常務をはじめ
総勢17人が参加。タイヤ
シヨベル1台とダンプ3
台を使って雪を運び出し
た。

木幡常務は「冬の十勝
を訪れる旅行客が事故に
遭うことなく観光を楽し
めるよう、安全な地域づ
くりにも貢献したい」と話していた。